2025 年 3 月 31 日

国立大学法人東京藝術大学
株式会社 AD ワークスグループ

東京藝術大学「AD ワークスグループ『日本画』賞」第３回 受賞者決定

～東京藝術大学美術学部にて授賞式を開催～

国立大学法人東京藝術大学（東京都台東区、学長：日比野 克彦、以下「東京藝術大学」）**の美術学部**（学部長：光井 渉）**と AD ワークスグループ**（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：田中秀夫、以下「ADWG」）**の共催で 2022 年 12 月に創設した東京藝術大学「AD ワークスグループ『日本画』賞」（以下「本賞」）は、東京藝術大学美術学部選考委員会による審査**（2025 年 1 月 16 日）**、同運営委員会での最終承認**（同年 2 月 6 日）**を経て第３回受賞者が決定し、このほど授賞式が執り行われました。**

本賞の第３回受賞者は、山田雄貴（やまだ・ゆうき）**氏、平良志季**（たいら・しき）**氏の２名で、審査の結果、同率で両者ともに大賞を授与することといたしました。**

受賞者のコメント

大賞受賞：山田雄貴（やまだ・ゆうき）氏



東京藝術大学では博士課程までを学生として、またその後は非常勤講師として、多くのことを経験させてもらいました。ここで学んだことをベースに今後も活動に励んでいきたいと思っております。それができるのもこのような栄誉ある賞をいただけるおかげであり、大変ありがたく思っております。

平良志季（たいら・しき）氏



素敵な賞を頂戴し、ありがとうございます。東京藝術大学では先生方や先輩方に多くの支援をしていただきました。おかげで、ここまで活動してまいることができたので、これからは私ができる限りのことを、後輩に返せるよう邁進してまいります。

光井渉 美術学部長 挨拶要旨

「日本画」は一般に認識されている以上に広い広がりをもつ領域です。その広がりを包括した日本画の賞は今まであまりなかったと思います。今回３回目を迎えましたが、選考の過程では、日本画の見方や現在の流れについて盛んに議論され、私自身も新鮮な発見とともに楽しく参加していました。選ばれたお二方は、すでに高い評価を得ておりますが、今後さらに飛躍していくことを我々一同が保証するものと捉えてもらいたいと思います。そしてお二方の今後の活躍が、本賞の価値をさらに高めるとともに、後に続く後輩たちがこの賞を目指して努力するような基盤になると思っております。今後の精進を期待しております。

田中秀夫 AD ワークスグループ社長 挨拶要旨

おかげさまを持ちまして、昨年に続き３回目の授賞式を迎えることができました。３年目は一つの節目だと考えており、ここまで無事に運営できたことに安堵しています。

本賞は、日本画のすばらしさを次世代に伝え、その可能性を広げること、若手アーティストの創造的な挑戦を支援することを目的として創設されました。この度も将来性と独自性に富んだ素晴らしい才能をお持ちのお二方に出会うことができました。お二方が創作に込める想いや今後の展望、そしてそのお人柄に触れたことで、ますます応援したくなった次第です。私たちにとっては、受賞者の皆様が、日本画界のみならず、国内外のアートシーンで活躍し、新しい時代を切り開いていく姿を見ることが何よりの喜びです。ますますのご活躍をお祈りしております。



左から、
東京藝術大学美術学部長 光井渉／大賞受賞者 山田雄貴氏／大賞受賞者 平良志季氏
／AD ワークスグループ代表取締役社長 CEO 田中秀夫

【山田雄貴（やまだ・ゆうき）氏】

■プロフィール



生年月日	1989 年 6 月 4 日		
学歴	2014 年	3 月	東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
	2016 年	3 月	同大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画研究分野修了
	2019 年	3 月	同大学大学院博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了
大学での専攻	日本画		
卒業・修了後の活動	修了後、東京藝術大学日本画研究室にて、19 年～教育研究助手　22 年～非常勤講師（テクニカルインストラクター）として勤める。日本美術院での発表を中心に、全国百貨店や画廊での展覧会を開催している。		
創作の基本方針	幼少期から博物館の化石や標本に興味があり、時を超えて存在を表すかたちとして絵画の中に表現している。		
受賞歴	2017 年　第２２回松柏美術館花鳥画展 大賞 受賞 2017 年　第３２回有芽の会　法務大臣賞　受賞 2020 年　第７５回春の院展　奨励賞　受賞		
個展	2022 年　山田雄貴展－存在のかたち－（大丸心斎橋店、松坂屋上野店） 2022 年　山田雄貴展－静寂の煌き－（日本橋三越本店） 2023 年　「更生保護」表紙絵による山田雄貴作品展（銀座・ナカジマアート） 2024 年　山田雄貴日本画展－まぼろしの色－（岡山天満屋、福山天満屋）		

■これまでの主な作品



標本室
2024 年
紙本彩色
170cm×215cm



太古の鳥
2022 年
紙本彩色
100cm×100cm



太古の王者
2022 年
紙本彩色
112cm×162cm

【平良志季（たいら・しき）氏】

■プロフィール



生年月日	1990 年 3 月 30 日		
学歴	2013 年	3 月	東京藝術大学美術学部デザイン科卒業
	2015 年	3 月	同大学大学院美術研究科修士課程デザイン専攻デザイン研究分野描画装飾研究室　修了
大学での専攻	デザイン科		
卒業・修了後の活動	個展・グループ展など		
創作の基本方針	主に目に見えない世界を研究制作発表しています。		
個展・出展	2017 年　池袋西武本店 2021 年　個展/アートフェア東京 2023 年　個展/大和百貨店富山 2024 年　佐藤美術館/個展・可笑異界		

■これまでの主な作品



閻魔漫画奪衣婆のキュンキュン淡ぁい初恋♡

2023

絹本着彩

224×162cm



地獄巡り諸々拵え図

2024

絹本着彩

162×336cm



諱号す閻魔大王のネタ切れ

2021

絹本着彩

112×162cm

ご参考：東京藝術大学「AD ワークスグループ『日本画』賞」とは…

【3 つの特徴】

① 39 歳までを対象とし、2 年間継続支援

東京藝術大学美術学部を卒業又は同大学大学院美術研究科を修了した 39 歳以下の、日本画創作活動を継続的に行っている方の中から、しかるべき審査手続きを経て大賞 1 名、特別賞 1 名を選出します（対象は「作品」ではなく「人」）。大賞は賞金 50 万円/翌年に活動支援金 25 万円、特別賞は賞金 30 万円/翌年に活動支援金 15 万円を授与、2 年間にわたって創作活動を継続支援します。

※ *前述の通り、今般については同率で両者ともに大賞とし、それぞれの受賞者に賞金 40 万円/翌年に活動支援金 20 万円を授与することといたしました。*

② 「日本画」の定義を柔軟に設定

日本画の定義や境界線は比較的曖昧であると言われております。そこで、日本画の優れた作家を輩出している同大学美術学部 美術研究科の日本画研究室・デザイン研究室・保存修復日本画研究室から推薦された方が創作する作品を、本賞では「 」付きで「日本画」と呼ぶものと定義いたしました。

③「AD ワークスグループ『日本画』展」への出品

また各受賞者には「ＡＤワークスグループ『日本画』展」に出品する権利を付与します。活動のための資金的支援のみならず、発表の場を合わせて提供するという趣旨です。

【なぜ日本画なのか】

ADWG は、前身が渋沢栄一も設立に関わった染物事業者（明治 19 年、青木染工場）であり、その技術を積極的に海外展開するなど、日本文化の一端を担った経緯があります。そうした流れに鑑み、日本文化の伝統継承に寄与するべく、まずは日本画というジャンルを選択したものです。

以上

本件に関するお問い合わせ：
株式会社 AD ワークスグループ　広報・IR 部
E-mail：pr@re-adworks.com